

## ふじのくに静岡ITS推進協議会の設立

## (ふじのくに静岡ITS推進協議会)

## ○設立の背景

静岡県では、平成24年4月に新東名高速道路の御殿場JCTから三ヶ日JCTまでの162kmが開通し、東名高速道路の渋滞や交通事故の減少、新東名インターチェンジ周辺観光施設の利用者の増加など、大きな効果が現れている。

また、南海トラフ巨大地震等の発生が危惧される本県では、東名、新東名等の高規格幹線道路を軸として、地震や津波に強い社会基盤の整備や、地域資源を活用した新しい産業の創出・集積などを目指して「内陸のフロンティア」を拓く取組を推進している。

ITSの活用は、道路交通が抱える課題を解決するだけでなく、利便性が高く快適な社会の実現や、新しい産業や市場を作り出すなど様々な可能性があることから、本県では新東名の更なる利活用促進や観光振興・産業の活性化、及び内陸のフロンティアを拓く取組などを支援し、「安全・安心で魅力あるふじのくに」の実現につなげていくため、庁内の関係部局と、学識経験者、関係機関からなる「ふじのくに静岡ITS推進協議会」を設立した。

## ○協議会の取組

## 1 トヨタ自動車株式会社東富士研究所の視察

- ・日 程：平成25年4月24日(水)
- ・視 察 先：トヨタ自動車株式会社東富士研究所  
(静岡県裾野市)
- ・参 加 者：38名
- ・視察内容

見通しの悪い交差点等で、歩行者や他の車両の情報を車が受信し運転者に注意喚起する「インフラ協調型安全運転支援システム」を体感し、安全対策を追求する衝突試験場やトヨタが将来の有効なエコカーと位置付ける燃料電池自動車を視察した。

## 2 「ITSセミナーinふじのくに」の開催

- ・日 程：平成25年5月29日(水)
- ・場 所：静岡県もくせい会館(静岡県静岡市葵区)
- ・参加者：約127名
- ・内 容

【第1部】記念講演：震災時の交通行動モニタリングと緊急支援物資の流れの記録

講 師：東北大学大学院情報科学研究科 桑原教授

【第2部】意見交換会

情報提供：ITSの現状と今後の取組

講 師：国土交通省道路局ITS推進室 西川企画専門官

ITSセミナーinふじのくに 記念講演



意見交換会では、ITSに関わる行政、民間、学識者により様々な意見が交わされた。

## 3 マイカー規制におけるTwitterを利用した情報提供

富士山の富士宮口では、夏の登山シーズンにマイカー規制を実施している。

平成25年6月の富士山の世界文化遺産登録により、来訪者の増加が想定されたため、これまで現地に来なければ分からなかった乗換駐車場の利用状況をTwitterを利用して、リアルタイムで情報発信した。

## 4 「第20回ITS世界会議東京2013」への参加

EV・PHVなど次世代自動車の本県における普及促進の取組や、山間部の道幅が狭く見通しの悪い道路で、対向車の接近を伝える「ゆずりあいロード支援システム」を導入した事例など、ITSの取組をPRするため、他の自治体や地域ITS推進協議会と合同で、展示会に出展し、また「ゆずりあいロード支援システム」については、セッションで発表も行った。

第20回ITS世界会議東京2013  
展示会 自治体オープニングセレモニー

## ○今後について

自動運転、カーナビゲーションなどの全国的なITSの取組と並行し、「マイカー規制におけるTwitterを利用した情報提供」や「ゆずりあいロード支援システム」のように、地域の課題に対してITS活用の可能性を研究し、対応出来ることから取り組んでいく。